



「モノを大切に長く使うことも大事だね。今までボクは、壊れたおもちゃを捨てちゃったり、ちょっと破れただけの洋服を着なかつたりしてたんだ。ボクが気付いた、リユースの方法を紹介するよ」



故障したモノは修理する



新しいモノを買わなくても、まだまだ使えます



お古、お下がり大切に使う

兄弟・姉妹に譲ったり、親しい人に使ってもらうことで、モノの寿命が伸びます。



着られなくなった洋服などはフリーマーケットで販売する



誰かに使ってもらうことで、モノも喜びます



リターナブルピンの商品を選ぶ

牛乳ビンやビールビン、一升びんなどは、洗ってもう一度使えます



「リサイクルもリユースも大事でしゅが、その前にごみをつくらないリデュースをすればもっとも効果的になるのでしゅ。ボクはリデュースの方法を紹介しましゅね」



買い物の時のビニール袋を断る

「マイバッグ」を持って買い物へ行きましょう



よけいなモノは買わない

ごみを増やさないように、本当に必要かどうか、きちんと考えて買い物を楽しみましょう



unnecessary な包装は断る

リボンや包装紙をごみにしていませんか。 unnecessary な包装は断りましょう

リデュース 愛媛県内の取り組み マイバッグって何？

愛媛県では「マイバッグ」をみんなに使ってもらうために、誰にでも利用しやすい使いやすい「マイバッグ」のアイデアを募集してコンテストを実施しました。レジ袋は1枚が約8g。毎日買い物に行くと、1週間で10枚程度のレジ袋が家にたまります。マイバッグを持参してこれを半分に減らせば、1週間で40g、1年で2kgのごみが節約できます。こんなバッグがあれば、楽しみながらリデュースできるというわけです。



リデュース・リユース・リサイクル

限りある資源を大切に



- 1 ごみを作らないよう生活そのものを工夫する (リデュース)
- 2 使い終わったものをごみにせず、くり返し大切に使う (リユース)
- 3 ごみを資源として活用し、新しい製品を作る (リサイクル)

循環型社会とは.....

これまでの私たち人間の生活は、大量に物をつくって、それを使ってするというのをくり返して来ました。そのために資源は少なくなってしまい、ごみが増えてしまいました。ごみは環境破壊の原因にもなっています。これからは、使い終わった物をくり返し活用する

「循環型社会」を目指していかなければなりません。循環型社会は物を大切に使い、いらなくなっても資源として再利用したり、少しでもごみを減らし、限りある資源を大切にできる社会です。この考え方は、エネルギーや食料などにも応用することができます。



愛媛県内の取り組み エコタウンを作ろう！

国では「エコタウン事業」という名前で、工場や農場から出るごみをそのまま捨てるのではなく、他の産業の原料として使うなど、何かに活用し、ごみを出さないようにしようという「ゼロ・エミッション」という取り組みを進めています。それを受けて愛媛県も「えひめエコランド構想」という取り組みをスタートしました。この構想ではゼロ・エミッションができる社会の仕組みづくりや、リサイクルの新しい方法などを考えていきます。

愛媛県内の取り組み 資源循環優良モデル認定制度の創設

すぐれたリサイクル製品とか、ごみを減らすことやごみを資源として活用する方法の開発に積極的に取り組んで、すばらしい効果をあげている会社やお店を認定して、多くの人に知らせる制度をつくりました。

※「エミッション」とは「(ごみを)出す」って意味。

(平成13年度認定) ● 優良リサイクル製品(5製品)  
● 優良循環型事業所(6事業所)  
● 優良エコショップ(4店舗)